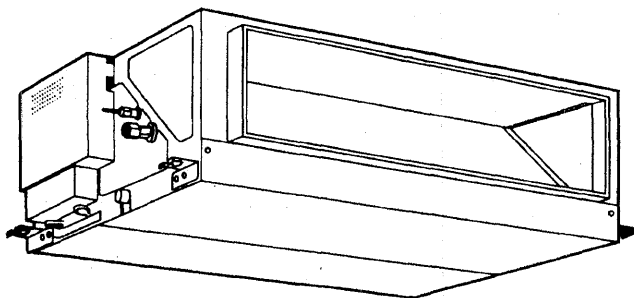
MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン（冷媒R410A対応）

Mr.SLIM

PE-RP・CAシリーズ

取扱説明書

もくじ

SAVE 省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』及び『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

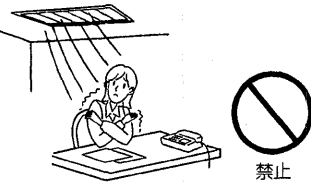
■“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

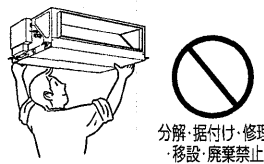
●ご使用時

⚠警告

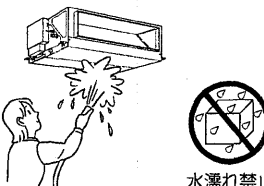
長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコン及びリモコンを水洗いしない

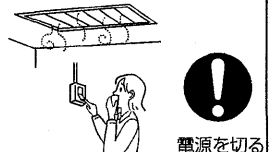
ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

水濡れ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断機がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁止

パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

分解禁止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行なう

冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

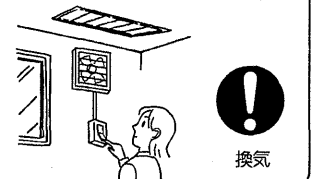
換気

●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

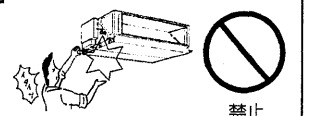
粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。

禁止

室内ユニットの金属部にさわらない。

ケガの原因になります。

禁止

●ご使用時

⚠注意

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になることがあります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。

使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

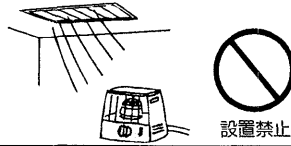
フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

リモコンを先がとがった物で押さない。

故障の原因になります。

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

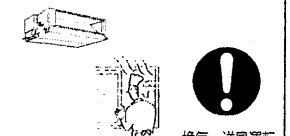
エアコンの下方に食品を置かない。

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。

室内を薬品消毒のときにはエアコンを停止する。

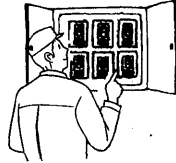
薬品が飛散し危険です。

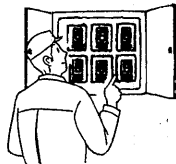
室内を薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4～5時間送風運転を行なう

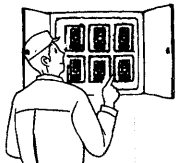
エアコンに付着した薬品が吹き出す恐れがあり危険です。

●据付け時

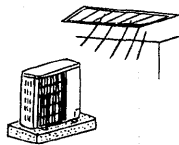
⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

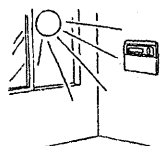
元電源の取付位置を確認する

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

漏電遮断器を取付ける

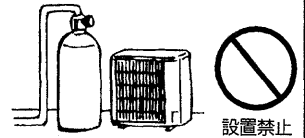
取付けていないと、感電の原因になります。

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

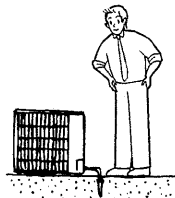
ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

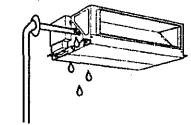
リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。

⚠注意

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

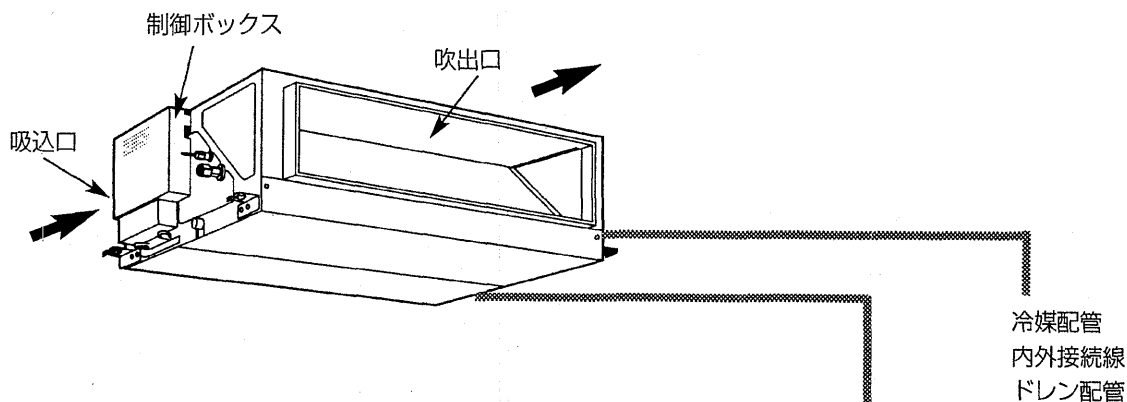
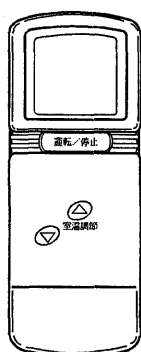
本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- ●可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- ●粉や蒸気が多量に発生するところ
- ●酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ●油煙がたちこめるところ
- ●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●積雪により室外ユニットが塞がれるところ

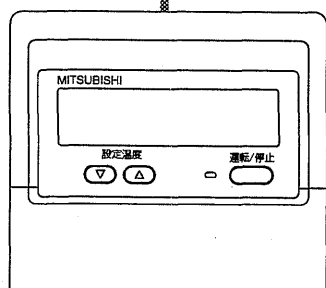
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

2. 各部のなまえ

室内ユニット

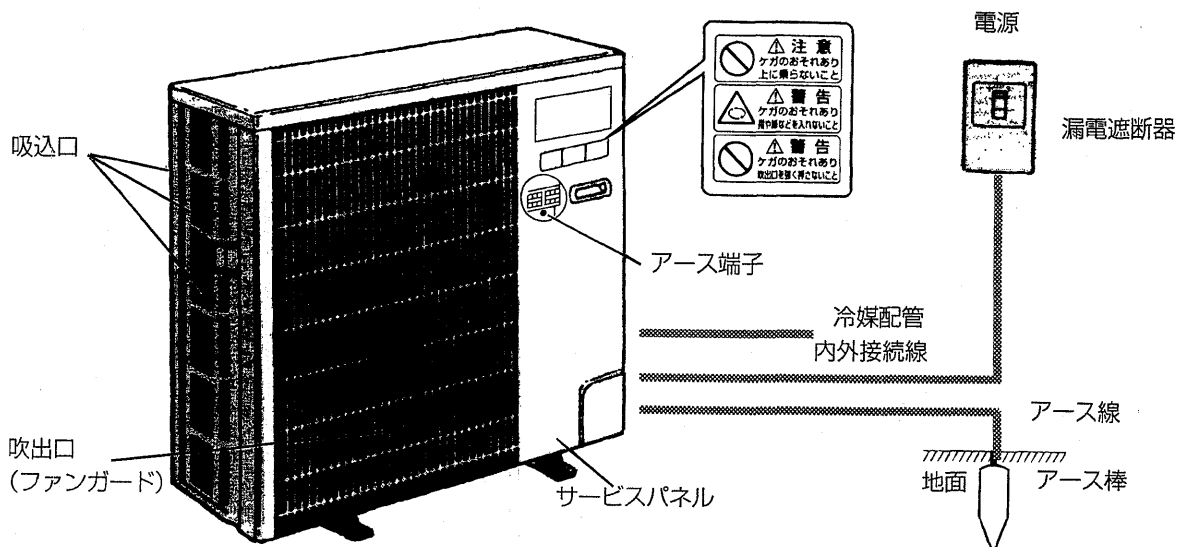
制御ボックス
吸込口
吹出口
冷媒配管
内外接続線
ドレン配管

リモコン

表示部
運転／停止
室温調節
操作部

ワイヤレスリモコン（別売部品）

MITSUBISHI
設定温度
運転/停止
表示部
操作部

ワイヤードリモコン（別売部品）

室外ユニット

電源
漏電遮断器
アース線
地面
アース棒

3. 運転のしかた

1 ワイヤードリモコン（別売部品）

説明のためすべての表示内容を示しています。
停止中は ⊙ 表示、運転中は運転ランプ、⊙ 表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。
（⊙：通電中を示す）

表示部

MITSUBISHI

ドライ 冷房 自動 送風 暖房 準備中 霜取中 ―集中管理中― タイマー 現在時刻 開始時刻 終了時刻 スイング 1時間のみ 換気 強弱 ●この機能はありません 本体側 リモコン側 センサー使用 フィルター清掃

設定温度ボタン
（▽）下げる （△）上げる

タイマーボタン

運転切換ボタン

時刻切換ボタン
（▽）戻す （△）進める

設定温度

運転/停止

運転切換　タイマー　時刻切換　風速　上下風向　フィルター　ルーバー　換気　点検　試運転

運転/停止ランプ

運転/停止ボタン

風速ボタン
（風速切換）

フィルターボタン
（フィルターリセット）

点検ボタン

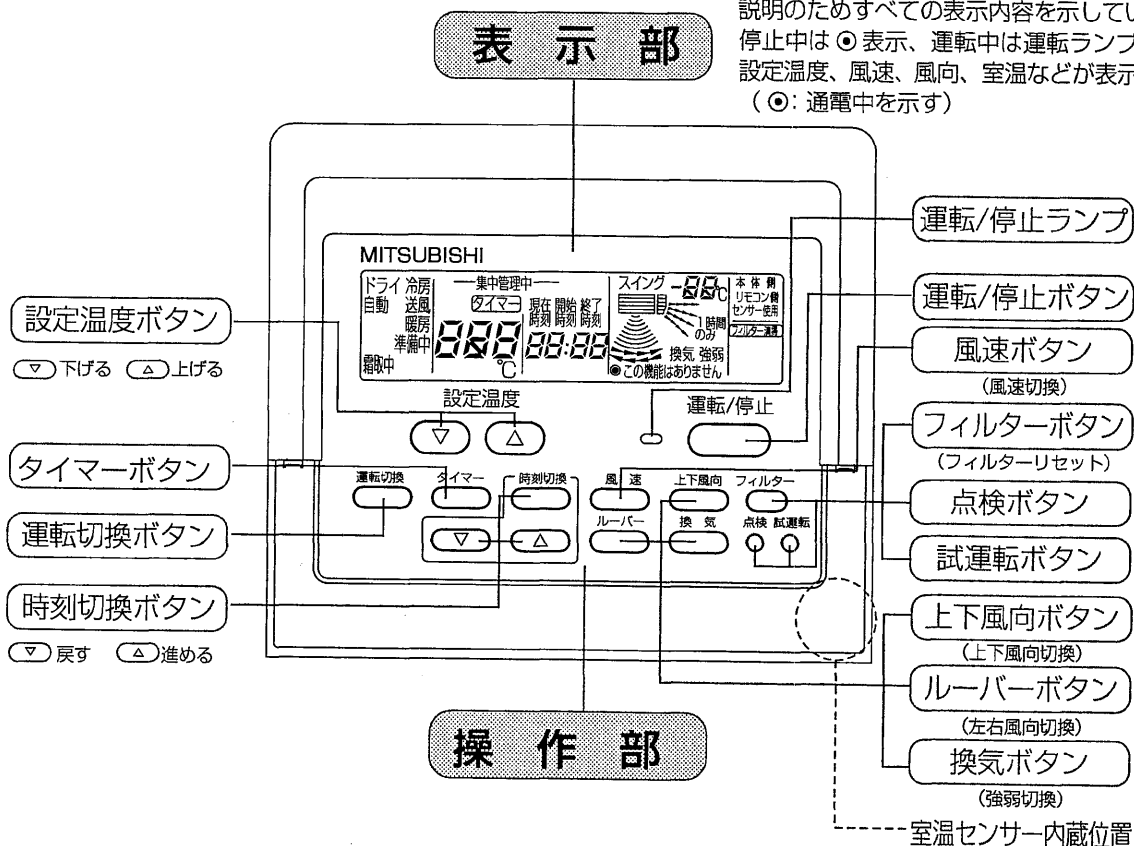
試運転ボタン

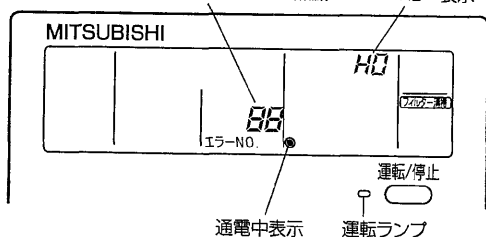
上下風向ボタン
（上下風向切換）

ルーバーボタン
（左右風向切換）

換気ボタン
（強弱切換）

室温センサー内蔵位置

操作部

● " HO " 表示（初期自動点検中）
電源を入れたときと停電が復帰したとき・・・約2分間お待ちください。

● 運転ランプ・エラーコードの点滅
点滅しているときは点検が必要です。
エラーコードを確認の上、お買上げの販売店へご連絡ください。

● "フィルター清掃" 表示
フィルターの掃除をしてください。<15ページ参照>
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

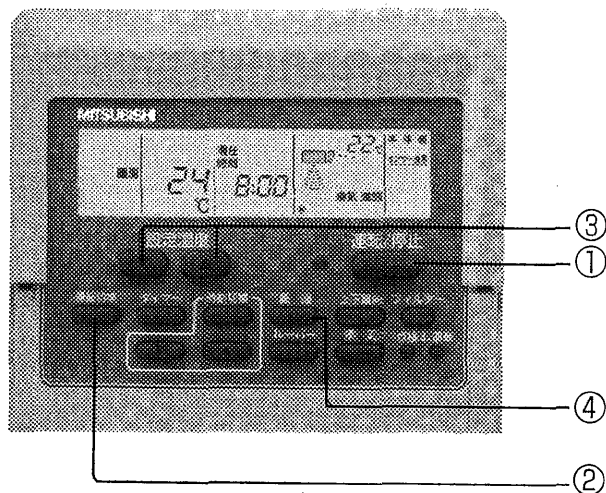
"この機能はありません"

● 上下風向・ルーバー・換気ボタンを押しても機能がない室内ユニットの場合は "この機能はありません" 表示がでます。

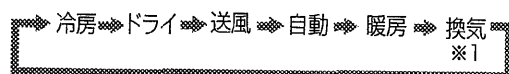
● 1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転している場合は1台でも機能を装備した室内ユニットがあれば表示されません。

(ワイヤードリモコン)

(1) 運転モードの切換、室温・風速調節のしかた

●運転開始の前に・・・ 電源（4ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1. ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
   ●運転ランプと表示が点灯します。
2. (運転切換) ボタン②を押す。
   ●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ ドライ ➡ 送風 ➡ 自動 ➡ 暖房 ➡ 換気 ※1

※1 換気装置が運動されていない場合は、表示されません。
・換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

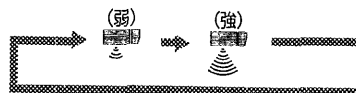
設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき・・・ (▽) 設定温度ボタン③を押す。
室温を上げたいとき・・・ (△) 設定温度ボタン③を押す。

●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
●温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

風速を変えたいとき

(風 速) ボタン④を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。

お知らせ

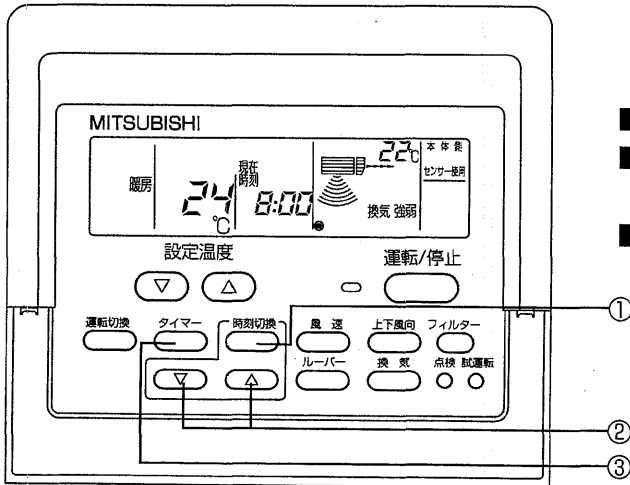
■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
・ "暖房準備中"・"霜取中" 表示のとき
・ 暖房運転直後（モード切換待機中）
・ 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

運転を停止するとき

⬭（運転／停止）ボタン①を押す。

再運転時の運転内容（リモコン設定）

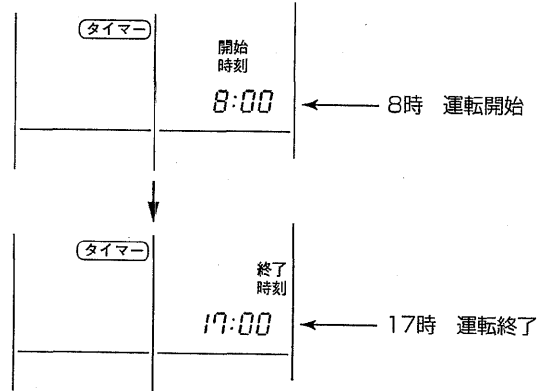
●再運転時は下記リモコン設定内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
設定温度	前回設定温度
風 速	前回設定風速

(2) タイマー運転のしかた

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

・入タイマー運転　運転の開始のみをタイマーで行う
・切タイマー運転　運転の停止のみをタイマーで行う
・入⇄切タイマー運転　運転・停止の両方をタイマーで行う

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー運転中（タイマーの表示がされているとき）は時刻設定・変更はできません。
■タイマー時刻設定は10分単位です。

タイマー設定表示例

現在時刻の設定を行うとき

1. (時刻切換) ボタン①を押し、表示を 現在時刻 にする。
2. 時刻切換 (△) ボタン②を1回押すごとに進み、
   時刻切換 (▽) ボタン②を1回押すごとに戻る。
   ●ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
   ●設定終了後約10秒で表示は消えます。

入タイマー運転を行うとき

1. (時刻切換) ボタン①を押し、表示を 開始時刻 にする。
2. 時刻切換 (△) または (▽) ボタン②を押して時刻を合わせる。
3. 終了時刻 を --：-- の表示に設定する。
   ● --：-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。
4. (タイマー) ボタン③を押し、表示を タイマー にする。

切タイマー運転を行うとき

1. (時刻切換) ボタン①を押し、表示を 終了時刻 にする。
2. 時刻切換 (△) または (▽) ボタン②を押して時刻を合わせる。
3. 開始時刻 を --：-- の表示に設定する。
4. (タイマー) ボタン③を押し、表示を タイマー にする。

入⇄切タイマー運転を行うとき

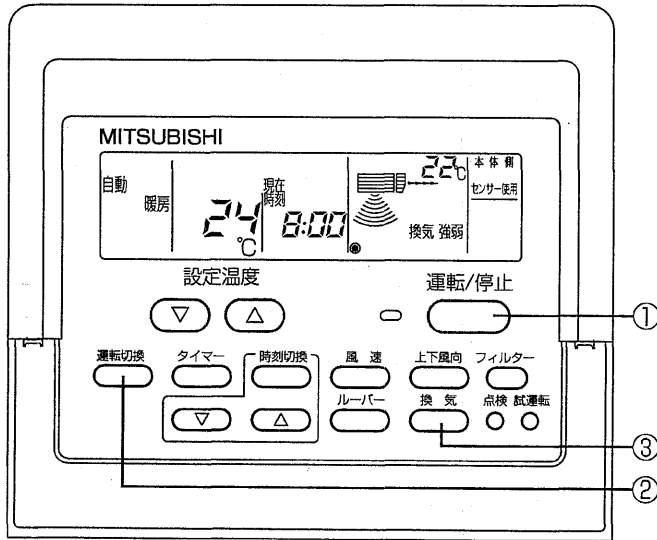
1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
2. (タイマー) ボタン③を押し、表示を タイマー にする。

タイマー運転を解除するとき

(タイマー) ボタン③を押して タイマー 表示を消す。

お知らせ

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(3) 自動運転、換気単独・ 換気連動運転のしかた

自動運転を行うとき

1. ⊂⊃（運転／停止）ボタン①を押す。
2. (運転切換)ボタン②を押し、表示を［自動］にする。
   - ●設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
     <リモコンに現在の運転モードを表示します>（13ページ参照）
   - ●パワーインバーターと組合せた時は、リモコンの吸込み温度は表示されません。

換気単独運転を行うとき

1. ⊂⊃（運転／停止）ボタン①を押す。
2. (換気)ボタン③を押す。
   - ●1回押すごとに設定が切換わります。

     → 換気 弱 → 換気 強 → 停止（表示なし）→

   - ●冷房運転・暖房運転などの必要がなく換気運転のみをしたい時に使用します。
   - ●エアコン停止でも(換気)ボタン③は有効です。
   - ●換気装置が連動接続されていない時は［換気］の表示はされません。

換気風量を変えたいとき

(換気)ボタン③を押す。

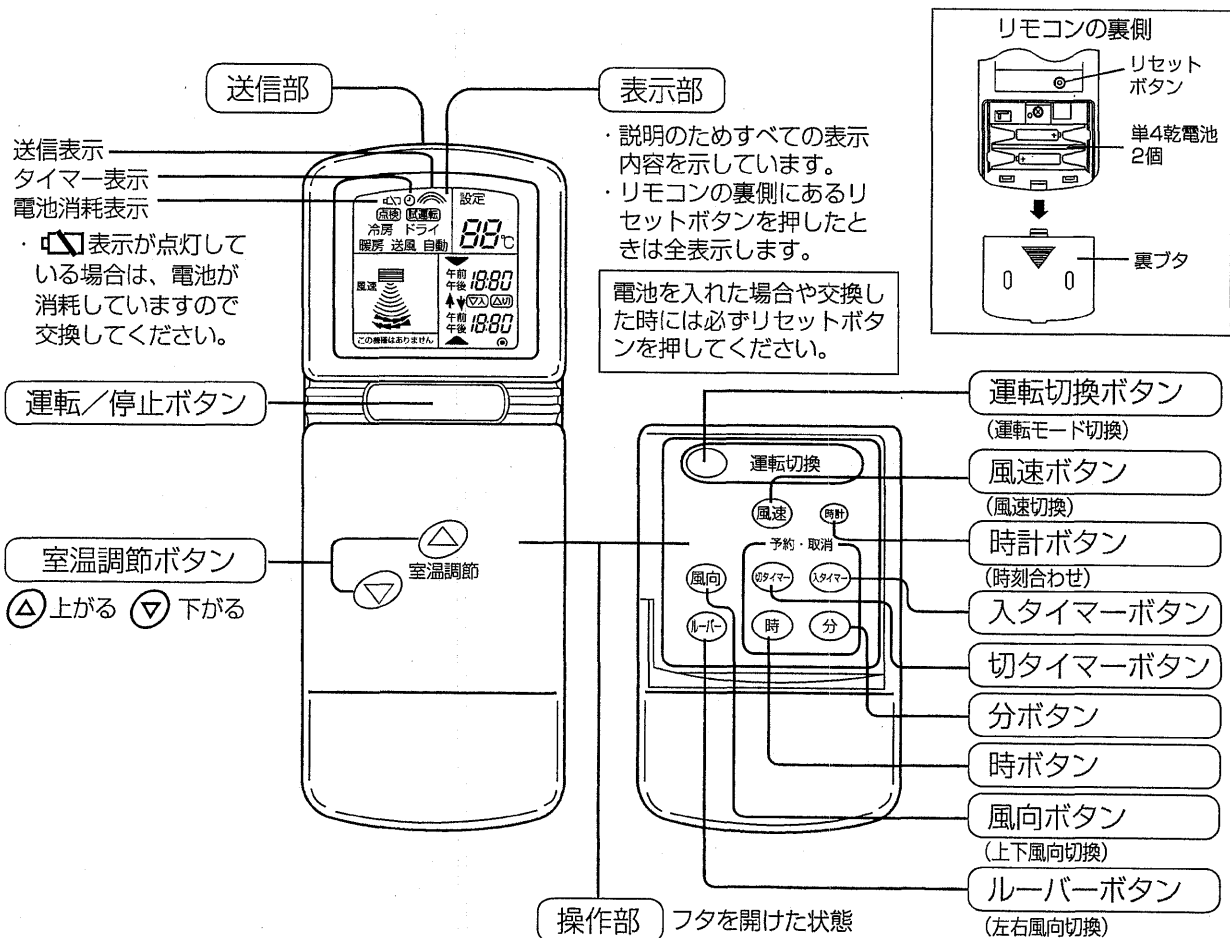
- ●1回押すごとに設定が切換わります。

  → 換気 弱 → 換気 強 → 停止（表示なし）→

- ●(換気)ボタン③を押した時［この機能はありません］の表示が点滅する場合は換気装置が連動接続されていません。

換気連動運転を行うとき

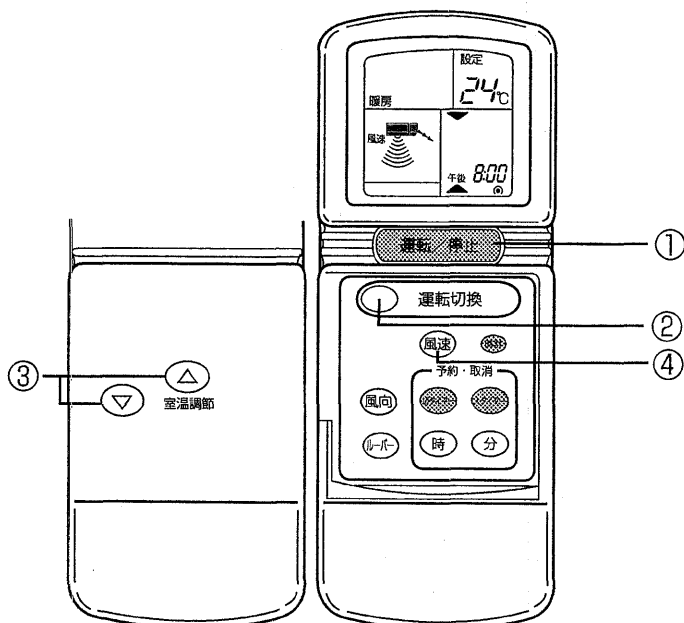
1. ⊂⊃（運転／停止）ボタン①を押す。
   - ●換気装置が連動接続している場合は、自動的に換気装置も運転します。
2. (換気)ボタン⑦を押す。
   - ●換気風量、強／弱どちらかに設定できます。

2 ワイヤレスリモコン（別売部品）

リモコンガイド

- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。
  初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。
- リモコンの送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。
  この信号のとどく範囲の目安は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。
  また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。

- リモコンの取扱いは大切に！落としたり、衝撃を与えないでください。
  また、水に濡らしたり、湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

(1) 運転モードの切換、室温・風速調節のしかた

●運転開始の前に・・・ 電源（4ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転開始、運転モードを選ぶとき

1.（運転/停止）ボタン①を押す。
●表示が点灯します。

2.（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
（換気単独運転にすることはできません）

冷房 → ドライ → 自動 → 送風 → 暖房

設定温度を変えたいとき

温度を下げたいとき・・・ ▽ ボタン③を押す。
温度を上げたいとき・・・ △ ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
●温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

風速を変えたいとき

（風速）ボタン④を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。

お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- ドライモードのとき

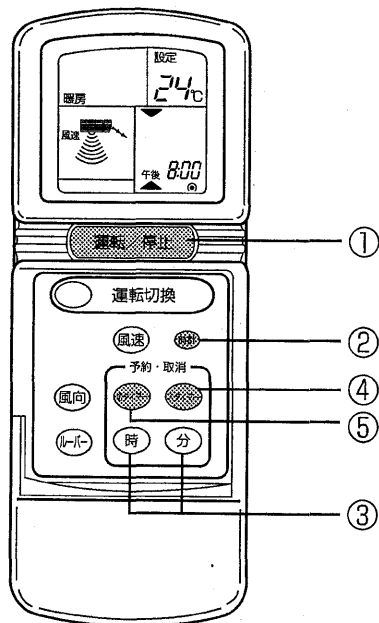
運転を停止するとき

（運転/停止）ボタン①を押す。

電池組込み／交換時のリモコン設定内容

●電池を入れた場合や交換した時には必ずリセットボタンを押してください。
●電池組込み／交換時は初期設定、2回目以降は再運転時内容となります。

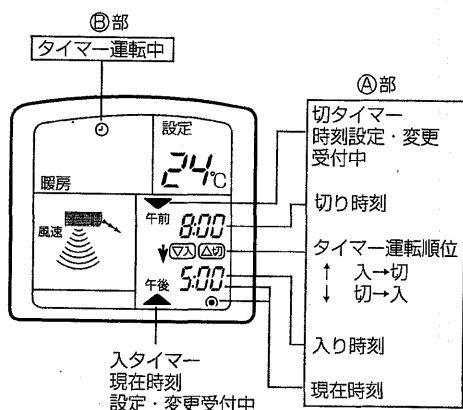
	初期設定	再運転時内容
運転モード	送風	前回の運転モード
温度設定	―	前回の設定温度
風　速	強	前回の設定風速

(2) タイマー運転のしかた

●タイマー運転の設定は、リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから"ピッ"と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

・入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う
・切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う
・入・切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

■タイマー時刻設定は、10分単位です。

現在時刻の設定を行うとき

1. (運転/停止) ボタン①を押す。
   ●リモコンに表示がでます。
2. (時計) ボタン②を押す。
   ●Ⓐ部に▲が表示されます。
3. (時)(分) ボタン③を押し、現在時刻を合わせる。
   (電池を入れて最初に現在時刻を合わせるときもここから操作してください。)
4. (時計) ボタン②をもう1回押す。
   ●Ⓐ部の▲表示は約1分間点灯して消えます。
   (現在時刻あわせの設定完了です。)
   ●設定中に▲表示が消えたときには 2. (時計) ボタン②を押す項から押しなおしてください。

入タイマー時刻の設定を行うとき

1. (運転/停止) ボタン①を押す。
   ●リモコンに表示がでます。
2. (入タイマー) ボタン④を押す。
   ●Ⓐ部に▲・▽入、Ⓑ部に ◷ が表示されます。
3. (時)(分) ボタン③を押し、入り時刻を合わせる。
   ●入タイマー時刻設定後Ⓐ部の▲表示は10秒間点灯して消え、入タイマー運転が開始します。
   ●エアコンの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。
   ●設定中に▲表示が消えた時には 2. (入タイマー) ボタン④を押す項から押しなおしてください。

切タイマー時刻の設定を行うとき

1. (運転/停止) ボタン①を押す。
   ●リモコンに表示がでます。
2. (切タイマー) ボタン⑤を押す。
   ●Ⓐ部に▼・△切、Ⓑ部に ◷ が表示されます。
3. (時)(分) ボタン③を押し、切り時刻を合わせる。
   ●切タイマー時刻設定後Ⓐ部の▼表示は10秒間点灯して消え、切タイマー運転が開始します。
   ●設定中に▼表示が消えた時には 2. (切タイマー) ボタン⑤を押す項から押しなおしてください。

入⇄切タイマー運転を行うとき

入タイマー・切タイマー両方設定する。

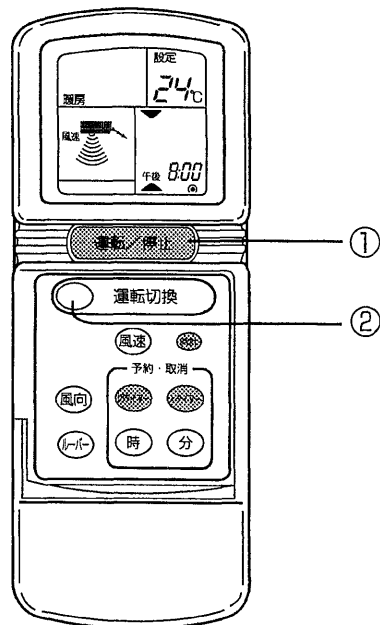
●Ⓐ部に [切り時刻 ↑↓(▽入)(△切) 入り時刻] が表示されます。↑↓表示は↑又は↓どちらかが表示され、↑は(▽入)→(△切)を、↓は(△切)→(▽入)を表します。

タイマー運転を解除するとき

(運転/停止)ボタン①を押す。

(お知らせ)

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(3) 自動運転、換気連動運転のしかた

自動運転を行うとき

1. (運転/停止)ボタン①を押す。
2. (◯ 運転切換)ボタン②を押し、表示を[自 動]にする。
   - ●設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(13ページ参照)

換気連動運転を行うとき

●換気装置が連動接続している場合は、エアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。

●リモコンには表示されません。

(お知らせ) ■ワイヤレスリモコンでの換気単独運転はできません。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

●ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
●室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
●室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26～27℃	7	3
		24～25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

温調信号ON･･･室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF･･･室温が設定温度より低い場合

1.お好みの室温になるまで
　室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2.お好みの温度になると
　圧縮機・室内ファンとも停止します。
　10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

●暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
（ホットスタートといいます。）
●風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、風速は微風(一部機種は弱風)となります。
●ワイヤードリモコンに“霜取中”“暖房準備中”の表示中は冷風を出しません。ワイヤレスリモコンでは、受光部付近にある表示灯の点灯でお知らせします。
●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

霜取中とは

●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
●霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

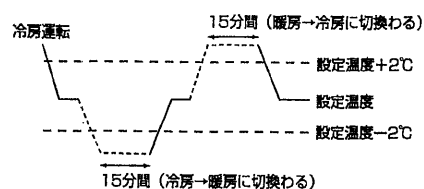
換気連動運転とは

●室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

ミスタースリムの使用温度範囲

		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	―
暖　房	乾球温度	17℃～28℃	-11℃～21℃
	湿球温度	―	-12～15℃
送風・換気	乾球温度	―	―

自動運転とは

●設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
●自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

●パワーインバーターと組合せた時は、体感温度を一定に保つように室温を自動的に調節しますので、室温が設定温度に到達した後は、冷房では少し高め、暖房では少し低めで運転します。（省エネサイクル自動運転）

上手な使い方

上手な使い方ー“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
●冷やしすぎは健康にもよくありません。
電力のムダ使いにもなります。
●たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
●フィルターは通常の環境では約2500時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
(弊社別売品のロングライフフィルタ使用時)
●ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。
(15ページ参照)
※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

中間期にはドライ運転を

●ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60〜70%、冬では55〜70%程度といわれています。
●ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じるときがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

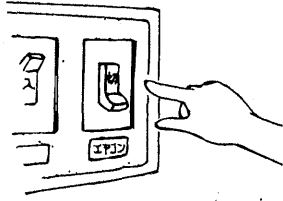
●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
●暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

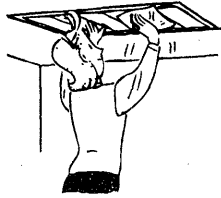
ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
●冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。
当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

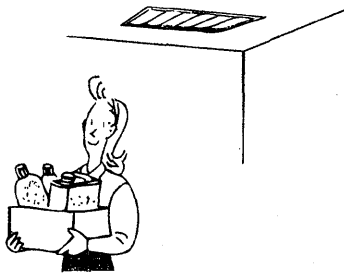
4. お手入れのしかた

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、布等に少量ふくませてから拭き取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

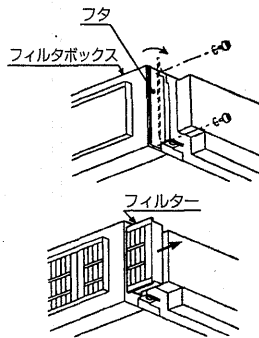
⚠注意
必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠注意
フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

⚠注意
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

(1)フィルターを取外す。

■弊社別売フィルターをご使用の場合は、別売フィルターの説明書を参照願います。

1.フィルタボックスのフタを閉めているネジ（2本）を外します。

2.フィルタボックス開口部よりフィルターを矢印の方向に引き抜いてください。

(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

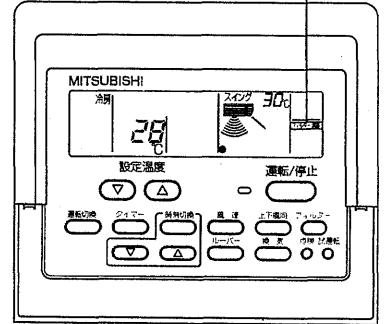
(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルター清掃時期がくると

■フィルターは通常の環境では約2,500時間ごと、及びシーズンの始めと終わりに清掃してください。

■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。

“フィルター清掃”表示をリセットする

(1)フィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

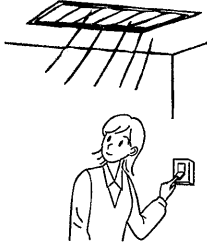
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（ロングライフフィルター：約2,500時間、一般フィルター：約100時間）。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。

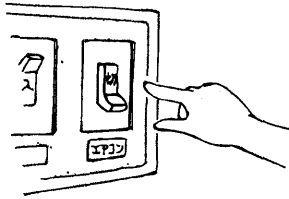
■“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

5. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

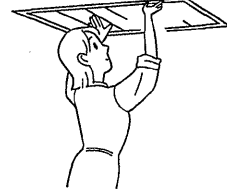
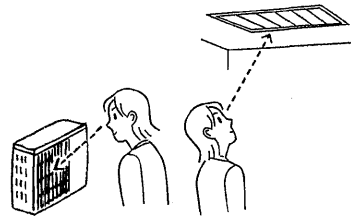
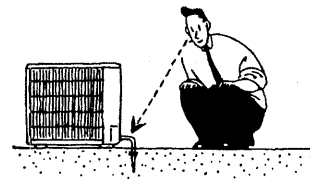
(1)4〜5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

(2)エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット〜数十ワットの電力が消費されます。

**(3)<ワイヤレスリモコン使用の場合>
リモコンから乾電池を取出す。**

再度使い始めるとき

■下記作業(1)〜(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

**(1)フィルターを清掃して、取付ける。
※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。**

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

6.「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	■フィルターの清掃を、専門業者に依頼してください。 （フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです。） ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。 室外ユニットの吹出し口・吸込み口がふさがれていませんか？ ■窓やドアが開いていませんか？
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	■充分に暖かな風をおとどけするための準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
水の流れるような音やときどき“プシュ”と音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。 ※においが著しい場合や、においに違和感のある場合は運転を止め、お買上げの販売店にご相談ください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源開閉器を入れてください。表示部に“◉”が表示されます。

故障かな？	お答えします（故障ではありません）
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	■3分間お待ちください。 （エアコンを保護するため、止まっています）
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■停電自動運動を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“HO”の表示がでる。	■初期自動点検（約2分）を行っているためです。
リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない薄い、受光部に近付けないと受信しない。	■乾電池が消耗しています。 乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。 ※新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名を連絡してください。

7. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

下記は、以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場所場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1．「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ（ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など）		20,000時間	バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●電気部品に絶対に水(洗浄水等)をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

●補修用部品の保有期間について
このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

表-2．「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為にお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
  保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
  保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
  標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
  なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

8. 移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。

- ・可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- ・粉や蒸気が多量に発生するところ
- ・油煙のたちこめるところ
- ・湿気の多い場所
- ・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
- ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据え付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

9. 仕　　様

●PE-P・CA形　ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形　50/60Hz

形名	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
騒音：強-弱 dB	36-28	36-29		40-33		43-46		
風量：強-弱 m³/min	14-10			19-13.5	22-15.5	38-26.5		
別売 補助ヒータ kW	(1.0)				(1.4)	(2.7)		
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	380×750×900				380×1000×900	380×1200×900		
質量 kg	44	45			50	70		

●（　）内の数値は、補助ヒータ付の場合を示します。
●電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。	
お買上げ店名	電話
お買上げ(据付)日	年　　月　　日

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 (073)436-2111（代表）

WT03949X01